

令和7年度 第4回倉吉市国民健康保険運営協議会（概要）

日時：令和8年2月12日（木）

午後2時00分から午後3時45分まで

場所：倉吉市役所本庁舎 3階 大会議室

【出席者】

- ・委員 芦崎 理千、福井 満寿美、山下 千之、長谷川 理恵、森石 学、福嶋 寛子、森本 英嗣、中尾 昭二、春木 眞知子、明里 利彦、金子 哲也（11名）
- ・市長 広田 一恭
- ・事務局 健康福祉部長 吉川 仁彦、保険年金課長 北中 恵里子
健康推進課長 中宇地 晴美、長寿社会課長 山根 博之
健康推進課 河原 康夫、長寿社会課 河本 千鶴栄
保険年金課 伊東 利恵、北村 章、三浦 貴弘、佐伯 香里
（欠席委員：安梅 正則、宮崎 聡、小谷 弓子、上本 武、檀原 三七子）

【日程1 開会】

【日程2 会長あいさつ】

【日程3 市長あいさつ】

【出席者数報告】

事務局 ・委員16名のうち11名出席。委員半数以上の出席となるため、倉吉市国民健康保険条例施行規則第2条の規程に基づき、本日の会議は成立。

【日程4 議事録署名委員の決定】

議長（会長） ・倉吉市国民健康保険条例施行規則の規程により、議事録は事務局が作成し、議事録署名委員は議長が指名することになっている。
・議事録署名委員は芦崎理千委員と森本英嗣委員にお願いする。

【日程5 審議事項】

（1）倉吉市国民健康保険条例の一部改正について

事務局 （1）倉吉市国民健康保険条例の一部改正について【別添資料1】に沿って説明。
原案のとおり承認された。

（2）令和8年度予算（案）について

（2）令和8年度予算（案）について説明。
原案のとおり承認された。

（質疑・意見等）

議長 ➤滞納整理にかかる費用を税務課に移管したということだが、国民健康保険料の滞納分について自力執行権はあるのか。

事務局 →税と同様、差し押さえができる。

（3）令和8年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画（案）について

事務局 （3）令和8年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画（案）について【別添資料2】および「保健事業の実績と方針について」に沿って説明。
原案のとおり承認された。

	(質疑・意見等)
委員	<p>➤医療費分析中、骨折が入院医療費をかなり占めていることが分かった。</p> <p>骨折で入院治療し、退院後自宅ではなく施設に帰られるような人は、二次性骨折の予防をしたくても治療が中断してしまうパターンが非常に多い。</p> <p>脆弱性骨折となる人は骨折の危険性が高いレベルの骨粗鬆症の場合が多く、通院を継続してしっかりとしたエビデンスのある治療が必要となってくる。</p> <p>そのため施設とも連携していくことが、確実に治療中断のないよう続けていく対策として重要かと思う。</p>
事務局	→そういった対象者を見つけていくためにも、レセプトで抽出し、現状を把握していきたいと思う。
委員	➤厚生病院や救急で受け入れて整形の治療対象となっている医療機関等に、市としても協力させて欲しいというようなアプローチをしていくのが早いのかと思う。
事務局	→そちらの実施については、こういったものが良いのか中部医師会の方に相談させていただきたいと思う。
委員	➤健活くらよし 2025 について、第 1 回から第 6 回までのリピーター率は分かるか？
事務局	→数字は出していないが、リピート率は高く、同じ人が参加されていると把握している。
委員	<p>➤これを広げていく努力が、結果的に医療費抑制等になっていくと思う。</p> <p>年配者を訪問するにあたり、まず電話による取組は警戒される。詐欺等について十分注意するよう繰り返したりしながらやっているが、うまく届く工夫をしないとお年寄りには防御するので手一杯。その中で市の放送を聞いているのか、ハガキを読んでいるかも怪しい。自治会や隣人、民生委員などの協力で何らかの工夫で取り組みができればいいと思っている。</p>
事務局	→通知も A4 サイズの開かなくていいダイレクトメールにし、一目で内容が分かるような工夫をした。その通知や市報を見ての申し込みが多かったが、裾野を広げていくためには口コミや自治会との協力など工夫していく必要があるのかと思っている。
委員	<p>➤三朝町は国の補助でスマートリングを使ったり、湯梨浜町は歩数計を使ってポイントで還元するというように、成功しているところもある。利用者が現物を身に着けたりし、目に触れることで皆に周知できたりする。</p> <p>自己負担なく、公的補助で健康管理できるというような周知もあるかと思うので、1 市 4 町で情報共有していくといいと思う。</p>
事務局	→今年度倉吉市が委託している事業者と三朝町の事業者とは同じであるところからも、連携して情報収集していきたい。
委員	<p>➤協会けんぽでは、年 1 回の医療費通知を来年度から廃止することになった。</p> <p>マイナポータルを利用して服薬や医療機関の受診記録が見られるようになったため、必要な人はそちらで確認していただくことになる。廃止することで経費が浮く形になる。他の市町との兼ね合いもあったり、文句もあるかもしれないが、廃止を検討してみてもいいのでは。</p>
委員	➤特定健診の受診率が他の市町に比べて低いということだが、キャパシティは余裕があるのか、若しくは新規受診者が増えた場合に断るといったような状況はあるのか。
事務局	→医療費通知は、今年度までは年 4 回行っていたが、来年度から鳥取県全市町村で年 2 回にする方針となっている。直ぐに廃止することは難しいが、郵送代の高騰や紛失リスク等もあり、他の状況を見ながら廃止を検討していきたい。

事務局	→特定健診は集団健診をはじめ、中部の医療機関で受診が可能なので、キャパシティは十分にあると考えている。
委員	<p>➢保健事業については事業計画をしっかりと立案し、工夫されてやっておられる。倉吉市の被保険者数が9千人弱ということであれば、特定保健指導もそれなりに個別にアプローチできるメリットがある。丁寧にアプローチして健康寿命の延伸等、継続して進めていただきたい。重症化予防についても、すぐに効果が表れない事業ではあるが、将来の医療費削減や被保険者の健康増進に役だっていると思われるため、引き続き丁寧な実施をしていただきたい。</p>
委員	<p>➢医療費分析の入院費の1位と5位が精神科疾患となっている。県においてもメンタルヘルスについて働きかけがなされている。倉吉市としてメンタルヘルスについて何か対策はしているか。</p>
事務局	<p>→人的リソースが限られているため、倉吉市国民健康保険としては対策は行っていないが、倉吉市としての枠組で対策している。メンタルヘルス実施対策として、県の事業を活用し、協力しながら進めている。</p>
委員	<p>➢特定健診の案内の中に、メンタルヘルス対策の内容のリーフレット等を入れるなど、県の対策事業を周知するとなおいいのかもしれない。</p>
事務局	→いろいろ検討させていただきたいと思う。
委員	<p>➢外に出られない高齢者を連れ出し、会話を楽しみながらフレイル予防が出来ないかといつも考えている。いろんな世代の集まりのなかで楽しめたり、情報のやりとりがあると、高齢者が敬遠しがちなIT機器等も若い人のサポートで教えてもらえたりするというように、そばに相談できる人がいるといいなと思う。自分自身、通院等に手一杯で健診どころではない、市も新しい事業を取り組まれているが気軽に行けるようなものではない。日常的に相談できる簡単な集まりが増えていくといいなと思うし、地域住民の中で考えていかななくてはいけないところ。いろんな世代が繋がっていくことを工夫しないと先行きが不安に思う。</p>
事務局	→フレイル予防については、外に出て幅広い世代の人が集うような場所があればいいと思うし、そのような仕掛けを関係課と考えていけたらいいと思っている。
議長	<p>➢各地区でなごもう会を定期的開催されたり、社会福祉協議会がサロンを推奨されたりというところをPRする、地元の人たちにそういった場を立ち上げていただくみたいなことが必要だが、外に出ることをためらっている高齢者は多いと思うので、外に出て誰かと話しをしてみるといったことは難しいのかなと思っている。市として考えられることがあればお願いしたい。</p>
	<p>【日程6 報告事項】 (1)令和7年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の実施状況について (1)令和7年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の実施状況について 【別添資料3】に沿って説明。 (質疑・意見等)</p>
事務局	
委員	<p>➢特定健診のキャパシティは十分にあるということだったが、集団健診は公民館等で年間10~20回やっているということか。</p>
事務局	→集団健診は健診センターや公民館でも行っており、それ以外に医療機関での個別健診もできるので十分と思われる。今は医療機関での受診が増えている。

金子委員	<p>➤健診結果を渡すために会場に集まってもらい、その後集団指導みたいなことをやっている市町があったと思うが、そういったことは取り組まれているか。</p>
事務局	<p>→希望者になるが、各地区で健康相談を開催し、栄養管理や健診結果の相談などを受ける機会は設けている。</p>
委員	<p>➤健診結果を渡し、直接相談というようなものはやっていないか。</p>
事務局	<p>→健診結果を郵送し、その後で相談を受ける形。</p>
委員	<p>➤県内でも受診率の高いところの取り組みを見つけて取り入れたり、少しでも受診率が上がるような取り組み等をしていただければと思う。</p>
委員	<p>➤子ども・子育て支援納付金の使途は子ども支援課の方で行うのか。 健康教育、食育を子どものうちからしっかりやっていくことで、大人になってから自分の体は自分で守れるようになっていくのかなと思う。 子ども手当が支給される時に、子どものためにこういう風に使ってほしいというような啓発みたいなことをやってみたらいいのでは。</p>
事務局	<p>→子ども・子育て支援納付金は児童手当の拡充等使途が決められているもの。 幼いうちからの健康教育は非常に大切だと思うので、子ども関係課、教育委員会、健康推進課と一体になり、様々な健康教育を進めていきたいと思っている。</p>
議長	<p>➤健診の受診率を引き上げるのはなかなか難しい。 行けば引かかるから受診したくない人が多数いるし、受診して要再検と言われ、さらに結果が悪い可能性があるから行かない、というような意識を変えてもらういい解決策を思いついていただければ受診率も上がると思う。 集団健診においても、項目が十分になく、また別の医療機関で受診しないといけないようなところをうまく改善し、ワンストップで全部受診できればいいのかなと思う。</p>
委員	<p>➤協会けんぽでは費用補助で20歳、25歳、30歳の人にも健診を始めることになったが、このことで若いうちから健康維持を図ってもらう意識づけに繋がると思う。 また、小学生等に向けてリーフレットを作成し、授業で健康教育に取り組んでいたかということ、各支部から県や市の教育担当部署に投げかけている。 健康意識は地域により特性があると思うが、協会けんぽだけでは行き届かないところもあるので、市の方でも検討していただき、小学生のうちから取り組むことで将来的に健康な人が増え、医療費も抑制されていくことに繋がっていくと思う。</p>
事務局	<p>→若いうちから健康意識を高く持つてもらうことは大切であるが、国保だけでは難しいため、市全体、協会けんぽ等と連携を取ったり、先進的な取組をされているところの情報を得たりしながら、効果的な事業を研究していきたい。</p>
事務局	<p>【日程7 その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の協議会開催は今回で最後となる。 ・来年度は協議事項等があれば7～8月頃に1回開催、なければ決算報告を送付させていただきたい。 ・12月補正予算などあれば秋頃に、なければまた来年度も料金改定について検討する必要があるため、1月以降に開催させていただきたい。 <p>【日程8 閉会】</p>